

高知県	高知市	高知チャレンジドクラブ
------------	------------	--------------------

予算額	9,448,300 円
------------	-------------

トップアスリートによる巡回指導

巡回指導先団体総数	34 団体			
巡回指導先団体内訳	総合型クラブ 9 団体	スポーツ少年団 0 団体	学校 5 団体	その他 20 団体

トップアスリート総数	10 名			
トップアスリートの内訳 (大会出場別)	オリンピック 4 名	国際大会 名	全国大会 6 名	その他 名

アシスタントコーチ総数	10 名
-------------	------

指導種目	車椅子バスケットボール／車椅子フェンシング／ボッチャ／水泳／卓球 クライミング／フライングディスク／バドミントン／卓球バレー／陸上競技 ビーチバレーボール／マラソン／視覚障害者マラソン／サウンドテーブルテニス リズム運動／ビームライフル／バレーボール／トランポリン／車椅子ラグビー コーディネーショントレーニング／フロアホッケー／マット運動／ハンドサイクル
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

◆効果を高めるための工夫や取組など

- ・ 障害当事者のトップアスリートやアシスタント、また、障害者のスポーツ【障害特性】に熟知した、スタッフを派遣することで、質の高いプログラムの提供に努めた。
- ・ 申込書を作成し、巡回指導先団体の目的、障害レベル、参加者数等のヒアリングを行い、ニーズに応じた講師派遣のコーディネートを行った。
- ・ 多種目に対応という総合型クラブの特色を活かし、参加者のレベルに応じた種目の提供を行った。
- ・ 同じ理念を持った姉妹クラブとの連携を図り、より広域【高知県全域】にスポーツコミュニティの形成促進事業を広めていけるよう、事業実施時には、協力や応援の声かけを行った。

◆成果と課題

〔成果〕

- ・ 県内の総合型クラブにおいて、障害者のスポーツを知っていただける機会となった。
- ・ 現在3クラブにて、障害のある方が、自分たちの暮らしている地域の総合型クラブで活動できるように、調整を進めており、この3ケースを、良い方向へコーディネートしていく事で、相乗効果が期待できる。
- ・ 障害のある方の活動場が増えることにより、スポーツコミュニティの形成促進につながっている。
- ・ 巡回指導を通じて、県内総合型クラブや障害者団体、そして学校等とのネットワーク構築につながった。
- ・ 同じ理念を持つ組織(種まく大人たち)と連携を図ることにより、質の高いプログラムの提供が可能となる。
- ・ 現場を軽々することで、トップアスリート及びアシスタントコーチの資質向上につながっている。
- ・ トップアスリートが特別支援学校を巡回することにより、障害児やその家族に夢や希望を提供することができている。
- ・ 今回の事業により、今まで以上に多くの団体からご支援をいただき、障害者スポーツの拠点として更なる発展につながっていると自負している。

〔課題〕

- ・ 参加者の方に良いプログラムを提供していくには、お金がかかるという費用対効果を明確にし、本事業が終わった後も継続して同事業を行える財源確保が課題である。
- ・ 今年度は計画期間が短かった事から、依頼があればすぐ実践という流れが多かった。来年度継続的に事業を実施できるようであれば、円滑に事業を推進していくために、高知県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会と密に連携を図りたいと考えている。

取組の名称	福祉教育推進事業				
趣旨・目的	<p>学校の総合的な学習の時間において、障害者スポーツ体験教室を開催する。障害者のスポーツを通じて、運動することの楽しさや、ルールや用具を工夫することにより、物事を様々な角度から考えることのできる、感性豊かな心を育むことを目的とする。</p> <p>また、障害者のパフォーマンスの高さを多くの人に知ってもらい、人間誰もが持っている可能性の発見を学ぶ機会とする。</p>				
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 障害者スポーツの実技見学 2. 障害者スポーツの体験【運動プログラム】 3. 障害当事者の講話 4. 生徒と当事者のディスカッション～まとめ 5. 感想文やレポート等の提出 				
対象者	県内の小・中・高等学校等の生徒及び教員	参加人数	2,138名	実施回数	24
1 効果を高めるための工夫や取組など	<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続的に事業展開していくため、費用対効果を明確にし、学校に対して予算取りをお願いしています。プログラム内容が好評なこともあり、ほとんどの学校が予算取りを検討して下さっています。 				
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちの感想文の中から評価すると、障害者スポーツを通じて、子どもたちに確実な変化(成長)が生まれています。この事業を10年・20年と継続することにより、授業を受けた子ども達がやがて大人になり、明るい社会が生まれていくことを期待している。 ・ 大変好評をいただき、学校の先生方の口コミにより、ニーズの高い事業に発展している。 ・ 「種まく大人たち」という理念を共有できる障害当事者(身体・知的・精神)の団体と連携することにより、情報や知識等を得ることができ、円滑な事業の推進につながり始めている。 ・ 継続的に事業展開していくため、費用対効果を明確にし、学校に対して予算取りをお願いしています。プログラム内容が好評なこともあり、ほとんどの学校が予算取りを検討してくれている。 予算がついた学校には継続して巡回指導を行い、新規依頼の学校には、クラブの財源で巡回指導し、県内全域の学校へ広めていけるよう取り組んでいる。 				
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ ニーズの高い事業に発展しており、近い将来全てをコーディネートしていくには、人材不足(事務局員・指導者)が考えられる。 そのため、事業展開と並行して、人材養成が課題となる。 				

取組の名称	スポーツコミュニティの形成促進 ～ユニバーサルフェスティバルの開催～				
趣旨・目的	子ども・障害者・高齢者など地域の方が笑顔で楽しめる、スポーツを通じたコミュニティづくりを目的とする。また、多くの方々に障害者スポーツの楽しさを知っていただく機会とする。				
内容	<ul style="list-style-type: none"> ■オープニングセレモニー／スポーツ体験コーナー【7種目】開設 ■車椅子ラグビー デモンストレーション／ペタンク交流大会 ■フライングディスク遠投大会／体力測定 ■出店コーナーの開設／みんなでエアロビクス など 				
対象者	地域住民及び障害児・者	参加人数	1,050名	実施回数	2回
2 効果を高めるための工夫や取組など	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開催にあたり、実行委員会を設立した。委員の構成については、地域の実情を知っている、総合型クラブや市町村社協の方に入っていただき、事業展開の検討を行った。 ・ 東部地区の開催会場を高等学校とし、教員や生徒にも実行委員のメンバーに入ってもらった事で、企画から当日の運営に至るまで、学校との協働事業として、運営するという新たなケースの取組みを行った。 				
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開催にあたり、実行委員会を設立した。委員の構成については、地域の実情を知っている総合型クラブや市町村社会福祉協議会の方に入っていただき、事業展開の検討を行った。 また、東武地区の開催会場を高等学校とし、教員や生徒にも実行委員のメンバーに入ってもらった事で、企画から当日の運営に至るまで、学校との協働事業として、運営するという新たなケースの取組を行った。 ・ 学校を巻き込んだことにより、生徒がイベントの企画運営に関わることができ、障害者のスポーツを知り合える一つの機会となった。 ・ 障害がある人もない人も、子どもから高齢者まで多世代の方に、ご来場いただき、ごくごく自然な中で、親睦を深める機会となった。そして、障害者のスポーツを通じた、スポーツコミュニティ促進につながったと感じる。 				
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本事業の取組により、高知チャレンジクラブを知っていただく機会となりました。これを単発の事業で終わらせることなく、知っていただいたみなさん(障害の有無にかかわらず)に継続してスポーツができる仕掛けづくりが必要であると考えている。 				

本事業全体の成果と課題

〔成果〕

<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内の総合型クラブや多くの団体とのネットワーク構築につながり、それがクラブの財産となっている。 ・ 将来的に学校予算の中で、事業展開(クラブ収益事業)が行える可能性が出始めている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害のある方の選択肢が増え、障害者がスポーツを通じた社会参加へのきっかけづくりになっている。

〔課題〕

<ul style="list-style-type: none"> ・ 本事業を受託し、高知県全域へと推進していくためには、マネジメント力のある人材を確保し、連携して進めていくサテライトが必要だと感じています。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国的に総合型クラブは財政難(人件費の捻出)の具体策が無いと言われている中、当クラブも例外ではなく、良いプログラムを生み出しても、それを継続的かつ発展的に事業を推進していくには、厳しい現状があります。